おーい！くじらぐも

Vol.20　2023 年（令和 5 年）2 月号

発行人：(福)健翔会　相談支援センターくじらぐも
所在地：埼玉県行田市小見 1141 番地 1
TEL：048-580-3634　FAX：048-554-8814
MAIL：kujiragumo@kenshokai.net
発行責任者：くじらぐも　センター長　細川竜太

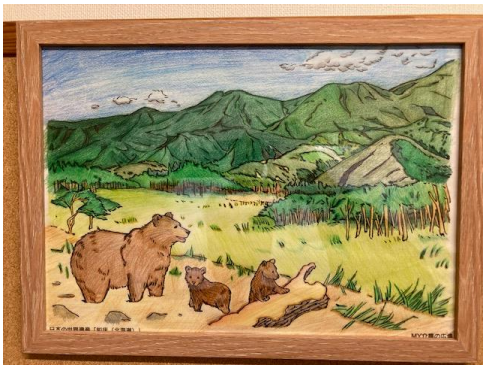
福祉サービスを利用するためには「くじらぐも」が作る『サービス等利用計画」が必要です。

「くじらぐも」は障害者総合支援法により、障害者・障害児に対し相談支援事業を提供する健翔会の第 4 号事業所です。

年度末が近づき新規の問い合わせが多くなってきています。ご相談はお早めに！

群馬県太田市美術館を紹介します。
トイレや通路の広さなど障害に問わず
人に優しい作りとなっています。

建物は美しく未来的で
バリアフリーな文化施設です。
ぜひ足を運んでみてください。



麦の穂ご利用者の作品です。同じような
写真を見ながらのタッチです。
繊細で素晴らしい作品になりました。

『障害のある人の恋愛事情　～好きな人ができました～』

先日、くじらぐもが担当している方から相談がありました。「好きな人ができました。」「どうしていいのかわからず、頭が混乱しています。」と。あくまで私の考え・主観で、その方へアドバイスしたことを紹介したいと思います。

人を好きなることは、非常に楽しい・うれしいと感じる半面、辛く大変なことも多くあります。好きになっても、どうせうまくいかないと下を向いて生きている人もたくさんいます。しかし、そのなかで自分の思いに気づき、どうにかしたいと思えたことは素晴らしいことです。そして今は「その人と一緒にいたい」「独り占めしたい」と思うはずですが、あえてここは一人で突っ走らず、相手との関係性や距離感を踏まえた行動が大切です。そして、その恋愛について相談できる人を見つけましょう。いろいろな人の意見を聞き、客観的・現実的なアドバイスをもらい、自分一人で突っ走ってしまうことを防いでもらいたいです。

次に、好きな人の前では緊張してしまう、恥ずかしくて本当の思いを伝えられないこともあります。大きくアピールしようと思わず、まずは「仲良くなること」「気軽に話せる間柄になること」で少しずつ距離が縮むことに繋がると思います。そして、アプローチとして「遠回しに好意を伝える方法」が必要かもしれません。相手に単純な好意だけを伝えるのは、相手も緊張するし、次からどう会っていいのかわからなくなるので、「〇〇さんのそういう性格がいい。」とか「〇〇さんといるときが一番楽しい。」など、恋愛関係に直結しない言い方だと安心すると思います。

とは言え、恋愛は一筋縄にはいかず本当に難しいこと。それは障害があってもなくても同じことです。人を好きになれば頭も混乱するし何も手につかなくなる。しかし、今だから言えることは、その瞬間瞬間はドキドキしたし、きらめいていた。それが生きている証です。人を好きになることに怯えず、恋愛を諦めないでくれればうれしいです。

＜2 月のトピックス＞

麦の穂に実習に来ていた、将来保育士を目指す学生たちに、ご利用者が描いたぬり絵を見てもらいました。そのときの反応は・・・。「キャー！すごい！！」学生の思ったままの反応はとても新鮮でした。障害者の方を、障害＝ハンデと考えることが多いと思いますが、見方を変えるとその人の得意なことや強みになります。今回、この学生たちが障害者の方と出会い、共に生活した数日間は、きっと次のステップに繋がる大切な時間になったと思います。そして、今回感じた素直な思いを忘れず大切にしてほしいと願っています。